

2025 年 11 月 28 日(木)9:00 から CRT スタジオで収録

<丸の内北口通信No.1>

AI 時代に欠かせない能力は、読解力と、問いを立てる能力（設問力）、AI 関係費用を準備する能力

開倫塾

塾長 林明夫

Q 1 : AI 時代に欠かせない能力は何ですか。

A : 3 つあります。

(1) 第一は「読解力」です。AI、チャット GPT など、示された内容を、「正確、分析的・論理的に読み解く能力」つまり、「読解力」です。せっかく AI を活用するのに、AI の説明内容が「読み解けない」「示された内容が理解できない」のでは、AI が役に立たないからです。



(2) 第二は、「AI と対話する力」具体的には、「問いを立てる力」、つまり、「設問能力」です。AI を活用するには、必要な「問い」を立て続け、AI との対話、議論を深めることが求められるからです。「設問能力」なくして「AI との対話なし」と考えます。

(3) 第三は、「AI 関係費用を準備」する能力です。AI やチャット GTP を用いるのには、様々な費用・料金が発生するからです。Wi-Fi の整備、月々の契約料金、新規機種への買い替え費用など、AI を活用するには、「費用」が掛かります。AI 関係費用をどのように準備するかも大切な課題です。

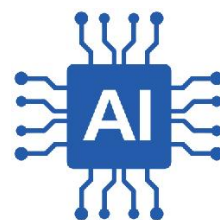
Q 2 : ではどのように AI 時代に欠かせない「読解力」「設問能力」を身に着けたらよいのでしょうか。

A : (1) 普段から、「辞書」「新聞」「読書」「図書館」に慣れ親しむことが、「読解力」を身に着けるのに役立ちます。

・「身に着けていることばの数」つまり、「語彙数」が少ないと、AI を使いこなすことが難しい、AI・チャット GTP で下されたことを正確に読み解き、理解することが難しい。

(2) ① AI 時代にこそ「新聞」を毎日読み、「自分で考える力」「批判的思考能力」は欠かせません。

②また、AI 時代にこそ「本格的な読書」で「思慮深さ」や「自分を振り返る力(省察力)(自省心)」を身に着けることは、欠かせません。



③ゆっくりした、腰を落ち着けた「読書」を行うときの、「著者との時空を超えた対話」は、「問いを立てる力」「設問能力」を身に着けるのに、役立ちます。

(3) ① AI 時代にこそ基礎学力(全教科の基礎知識)を身に付けておくことが求められます。

②各学年で学ぶすべての教科の内容を、ていねいに学び、理解を深め、自分のことばでいえる(表現・説明できる)ことは、AI を使いこなす前提となる基礎学力となります。

③「全教科、全分野の基礎学力なくして、AI 活用なし」です。

Q 3 : どのように AI 関係費用を準備したらよいのでしょうか。

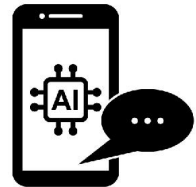
A : (1) AI 時代に欠かせないのはお金、AI 関係費用の準備です。

(2) ① AI の使用を必要最小限度にすること。

②不要な支出を削減して、AI 関係費用を準備する以外ありません。

③スマホに触れる時間を大幅に削減することも欠かせません。

○どうしたらよいかうまくお考え下さい。



Q 4 : 最後に一言どうぞ。

A : (1) ①昔「エンゲル係数」ということばがありました。

②家計に占める食費の割合はどのくらいかは、家計を考える場合にとても大事だからです。

③エンゲル係数が高くなればなるほど、せいかつは苦しくなります。

(2) 現在生活が苦しいのは、日本がエネルギー自給率・食料自給率が低いので、エネルギーや食糧を輸入に頼らざるを得ず、輸入する場合に「円安」で円が 120 円くらいの時と比べ、今は 1 ドル 156 円に近いので、同じものを輸入するのに物価が上がっているためと思われます。これを税金で補助するのも限界があります。

(3) ①これにコロナの前と比べ、大幅に膨れ上がった AI 関係費が上乗せされますので、かなり生活が苦しくなっています。

②「AI 関係費の家計を占める割合」は生活に大きく影響しています。

③では、どうしたらよいか、これから考えて参りましょう。



2025 年 11 月 26 日 (水) 21 時 32 分